



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 日本ケミカルリサーチ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4552 URL <http://www.jcrpharm.co.jp>  
 代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名)芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)萬谷 哲志 TEL (0797)32-8591  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,911	19.0	896	159.3	887	134.8	551	117.7
22年3月期第1四半期	3,286	31.9	345	—	377	—	253	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	17	64	17	03
22年3月期第1四半期	9	62	9	61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	30,140	22,597	74.9	699 32
22年3月期	29,148	20,483	70.2	700 80

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 22,575百万円 22年3月期 20,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5 00	—	10 00	15 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	6 00	—	6 00	12 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,200	19.3	970	198.6	970	169.0	590	412.6	18 57
通期	14,400	0.1	1,320	△34.3	1,320	△29.1	830	△36.3	25 92

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

## 4. その他（詳細は【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	32,421,577株	22年3月期	29,344,654株
23年3月期1Q	139,805株	22年3月期	145,386株
23年3月期1Q	31,253,066株	22年3月期1Q	26,332,489株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注意事項)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におきましては、主力製品である成長ホルモン製剤「グロウジェクト」の売上高は、本年4月の薬価引下げ（△6.1%）にもかかわらず、前年同期とほぼ同水準の21億11百万円（前年同期実績21億63百万円）を確保することができました。また、抗がん剤原体についても前年同期比で減収となりましたが、契約金収入の計上、および腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」が本年5月に発売となったことなどにより、医薬品事業における売上高は、前年同期に比べ6億13百万円増加して38億11百万円となりました。また、医療用・研究用機器事業における売上高も、前年同期に比べ11百万円増加して1億円となった結果、当社グループの売上高は、前年同期に比べ6億24百万円増加して39億11百万円となりました。

損益面におきましては、売上高の増収に伴う売上総利益の増加に加え、研究開発費の軽減により販売費及び一般管理費が前年同期比で減少したことにより、営業利益は8億96百万円（前年同期比5億50百万円増）、経常利益は8億87百万円（前年同期比5億9百万円増）、四半期純利益は5億51百万円（前年同期比2億98百万円増）をそれぞれ計上することができました。

なお、既にお知らせのとおり、成長ホルモン製剤「グロウジェクト」に関しましては、本年7月1日付で、大日本住友製薬株式会社の成長ホルモン事業を譲り受けることにより、従来2ルートで行っていた販売活動を当社に集約いたしました。これにより、一層の効率性及び競争力の向上を図ってまいります。

セグメント別の各売上高の状況は次のとおりであります。

## セグメント別売上高

事業の種類別セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		増減
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
医薬品事業	3,197,880	97.3	3,811,258	97.4	613,378
医療用・研究用機器事業	88,526	2.7	100,000	2.6	11,473
合計	3,286,407	100.0	3,911,258	100.0	624,851

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は301億40百万円（前連結会計年度末比9億92百万円増）、負債合計は75億43百万円（前連結会計年度末比11億21百万円減）、純資産合計は225億97百万円（前連結会計年度末比21億13百万円増）となりました。

流動資産は、売上債権が増加した一方、有価証券が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億17百万円減少して141億33百万円となりました。固定資産につきましては、主として神戸工場新棟の竣工による有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ18億9百万円増加して160億6百万円となりました。

負債では、リース債務が増加した一方、本年5月付で転換社債型新株予約権付社債の全額が株式に転換されたことなどにより、前連結会計年度末に比べ11億21百万円減少して75億43百万円となりました。

純資産につきましては、転換社債型新株予約権付社債の転換などにより、前連結会計年度末に比べ21億13百万円増加して225億97百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20億3百万円減少して、43億31百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、7億81百万円（前年同四半期連結会計期間比7億45百万円の支出増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8億72百万円、減価償却費の計上額2億9百万円が計上された一方で、売上債権の増加額8億88百万円、法人税等の支払額5億10百万円、未払金の減少額2億4百万円、たな卸資産の増加額1億88百万円があったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億2百万円（前年同四半期連結会計期間比9億84百万円の支出増）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出2億2百万円、有形固定資産の取得による支出1億85百万円があったことによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8億20百万円（前年同四半期連結会計期間比5億7百万円の支出増）となりました。これは主に、リース料の前払いによる支出4億46百万円、配当金の支払2億46百万円、リース債務の返済による支出61百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は15,280千円減少しております。なお、営業利益および経常利益に与える影響は軽微であります。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,220,569	1,901,996
受取手形及び売掛金	3,931,917	3,043,201
有価証券	2,614,843	4,333,929
商品及び製品	1,504,811	1,807,461
仕掛品	1,156,672	1,133,298
原材料及び貯蔵品	1,579,388	1,156,600
その他	1,131,888	1,579,429
貸倒引当金	△6,320	△4,944
流動資産合計	14,133,769	14,950,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,639,877	3,027,395
土地	3,604,920	3,604,920
その他(純額)	3,040,735	2,279,383
有形固定資産合計	10,285,533	8,911,699
無形固定資産		
投資その他の資産	113,423	118,883
投資有価証券	4,498,416	4,522,796
その他	1,281,859	816,388
貸倒引当金	△172,539	△172,539
投資その他の資産合計	5,607,736	5,166,645
固定資産合計	16,006,693	14,197,229
資産合計	30,140,463	29,148,202
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	858,951	914,855
短期借入金	1,743,000	1,782,800
未払法人税等	294,704	553,220
賞与引当金	359,956	225,679
役員賞与引当金	87,000	74,500
その他	1,894,901	1,811,057
流動負債合計	5,238,514	5,362,113
固定負債		
社債	—	2,000,000
長期借入金	609,600	634,800
退職給付引当金	49,851	51,913
その他	1,645,275	615,604
固定負債合計	2,304,727	3,302,318
負債合計	7,543,241	8,664,431

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,061,866	8,061,866
資本剰余金	10,777,797	9,779,147
利益剰余金	2,783,055	2,523,798
自己株式	△83,611	△83,912
株主資本合計	22,539,107	20,280,899
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,870	111,404
繰延ヘッジ損益	△70,257	4,998
為替換算調整勘定	68,555	65,410
評価・換算差額等合計	36,168	181,814
新株予約権	21,673	20,825
少数株主持分	272	231
純資産合計	22,597,221	20,483,771
負債純資産合計	30,140,463	29,148,202

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,286,407	3,911,258
売上原価	1,025,154	1,151,871
売上総利益	2,261,252	2,759,387
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	1,915,474	1,862,747
営業利益	345,778	896,640
営業外収益		
受取利息	11,472	13,358
受取配当金	9,592	11,056
保険返戻金	24,542	—
為替差益	—	2,564
その他	4,492	3,087
営業外収益合計	50,099	30,066
営業外費用		
支払利息	16,036	13,107
持分法による投資損失	—	24,717
その他	1,908	1,317
営業外費用合計	17,944	39,143
経常利益	377,933	887,563
特別利益		
投資有価証券売却益	13,914	—
貸倒引当金戻入額	—	17
特別利益合計	13,914	17
特別損失		
固定資産処分損	1,673	532
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,783
特別損失合計	1,673	15,316
税金等調整前四半期純利益	390,174	872,264
法人税、住民税及び事業税	133,560	279,377
法人税等調整額	3,126	41,597
法人税等合計	136,687	320,974
少数株主損益調整前四半期純利益	—	551,289
少数株主利益	278	40
四半期純利益	253,209	551,249

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	390,174	872,264
減価償却費	174,824	209,243
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,818	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	109	1,376
賞与引当金の増減額(△は減少)	118,036	134,277
受取利息及び受取配当金	△21,065	△24,415
支払利息	16,036	13,107
為替差損益(△は益)	9,595	△3,176
持分法による投資損益(△は益)	—	24,717
売上債権の増減額(△は増加)	△796,149	△888,716
たな卸資産の増減額(△は増加)	△424,199	△188,367
仕入債務の増減額(△は減少)	377,702	△55,904
未払金の増減額(△は減少)	124,515	△204,701
その他	14,152	△163,118
小計	△30,085	△273,411
利息及び配当金の受取額	25,428	21,376
利息の支払額	△10,516	△12,850
役員退職慰労金の支払額	△6,080	△6,080
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,113	△510,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,366	△781,244
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	800,000	—
有価証券の取得による支出	△100,000	△202,684
有価証券の償還による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△93,665	△185,988
投資有価証券の取得による支出	△195,500	—
貸付けによる支出	△50,000	△50,000
貸付金の回収による収入	—	50,208
長期前払費用の取得による支出	△4,106	△9,605
その他	26,040	△4,097
投資活動によるキャッシュ・フロー	582,768	△402,167
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△23,000
長期借入金の返済による支出	△16,800	△42,000
リース債務の返済による支出	△58,731	△61,675
リース料の前払いによる支出	—	△446,078
自己株式の純増減額(△は増加)	△132,643	△1,048
配当金の支払額	△104,194	△246,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△312,369	△820,298

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,533	473
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	248,566	△2,003,237
現金及び現金同等物の期首残高	5,620,523	6,334,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,869,090	4,331,201

**(4) 継続企業の前提に関する注記**

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

**(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

平成22年5月6日付で、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の全額(2,000,000千円)が株式に転換されたことにより、資本金が1,000,000千円、資本剰余金が999,999千円、それぞれ増加しております。